

〔No.39〕 騒音・振動の故障診断に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 走行路面に関係なく、特定のエンジン回転速度で“ボー”，“ウォーン”という耳に圧迫感のある連続音がしたので，こもり音と判断し，エンジン補機類の共振やアンバランスを点検した。
- (2) 高速走行中にステアリング・ホイールが回転方向に振動したので，フラッタと判断し，タイヤやホイールのバランス及びハブとホイールの嵌合部を点検した。
- (3) 特定の車速で“ウォーン ウォーン”と波打つ音がしたのでビート音と判断し，エンジン補機類やプロペラ・シャフトのアンバランスなどを点検した。
- (4) 中・高速走行中にステアリング・ホイールやシートが上下に振動したのでシェイクと判断し，プロペラ・シャフトのバランスを点検した。